つながる。ひろがる。たのしくなる。
宇土市民会館
UTO CIVIC HALL

劇場が、教室へ出かけていく。

宇土市民会館のアウトリーチ事業　12月から市内の小中学校で声楽・和太鼓

「アウトリーチ」とは、音楽家や俳優などの芸術家が学校や地域に出向き、教室や体育館で本物の芸術に触れる時間をつくる取り組みです。宇土市民会館では、熊本県立劇場などの関係機関と連携し、毎年市内の学校で実施しています。

令和7年度は、市内の小学校7校・中学校1校などで、ジャズ、声楽、演劇、和太鼓、ダンスのアウトリーチを年間25コマ実施しました。太鼓に触れた子どもたちの保護者が、宇土太鼓祭の本公演に足を運ぶ姿も見られました。今年度も7月に、ピアニストの田村緑さんが市内の小学校4校を訪れています。

令和8年熊本地震の影響で大ホールが使えない今も、文化芸術に触れる機会を途切れさせないよう、劇場から地域へ出向く事業を続けています。12月からは、市内の小中学校を中心に、声楽や和太鼓などのアウトリーチを順次実施します。子どもたちが、歌声や太鼓の響きを間近で感じる時間をつくります。






期　間	令和8年12月から順次実施
内　容	声楽・和太鼓などのアウトリーチ (学校での出前公演・体験授業)
実施先	宇土市内の小中学校ほか
問合せ	宇土市民会館　☎(22)0188

香典返し

市社協に次の方々から寄付がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。（敬称略）

▽走潟町　前田絹子　亡夫　一男　（七七）
▽住吉町　小林順子　亡母　谷口幸子　（九〇）
▽岩古曽町　鈴木　覚　亡父　義勝　（八四）
▽古保里町　濵本琴羽　亡父　健吾　（五八）
▽岩古曽町　那須直敏　亡母　静子　（九五）
▽古城町　秋吉睦夫　亡妻　勢子　（八四）
▽長浜町　浦本ハルヨ　亡夫　敏之　（九四）
▽新小路町　岩﨑　智　亡母　信代　（八七）
▽岩古曽町　木村　敏　亡母　千代子　（八七）
▽上網田町　大島一朗　亡父　和幸　（七九）
▽岩古曽町　那須宗子　亡夫　久　（八一）
▽石橋町　坂本純至　亡母　啓子　（九三）
▽上網田町　坂本龍子　亡夫　久男　（九二）
▽浦田町　中村朋子　亡夫　周一　（九五）
▽下網田町　田口豊明　亡母　フキ子　（九五）
▽石橋町　堀内由花　亡夫　和幸　（五五）
▽住吉町　柴田　朗　亡母　富子　（九一）

社協へのご寄付は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄付金控除」ができます。（※11月10日受付分までを掲載）

編集後記

▽熊本地震から4カ月。そして、（古）さんが異動し、早1カ月、彼の復帰を一日千秋の思いで待つ日々です。先月、編集後記でお知らせした「宇土高校」特集は、諸事情により1月号での掲載となります。楽しみにしていただいた皆様、申し訳ございません。隣で仕事をしている（松）さんからは、「勝手に予告しないでください！」と太い釘を刺されてしまいました。今年も残り1カ月。（祐）さんの明るいジョークを励みに頑張ろうと思います！（壮）

▽「ありがうと。」のロゴを、もっと多くの人に知ってほしい。そして、まちのあちこちで見かけるようになってほしい。そんな願いを込めて、今月の表紙を撮影しました。地元の商品を買うことが、誰かの再出発を応援することにつながる。そんな温かな応援の輪が、宇土から広がっていくことを願っています。今年、たくさんの支えをいただいた宇土から、感謝の気持ちを込めて「ありがうと。」（松）

▽地震などいろいろあった令和8年も残りわずか。今夏の地震は宇土市にも大きな爪痕を残し、災害には「想定外は通用しない」ことを痛感。私の家も損壊し、修理に取りかかりますが、耐震対策や家具の配置等も再考します。宇土市も被災された市民の方々を支援する相談や情報提供の場を設けています。常に最悪の事態を想定、災害は「他人ごと」という考えを捨て、災害については常に臨戦の気構えでいたいと思っています。（祐）